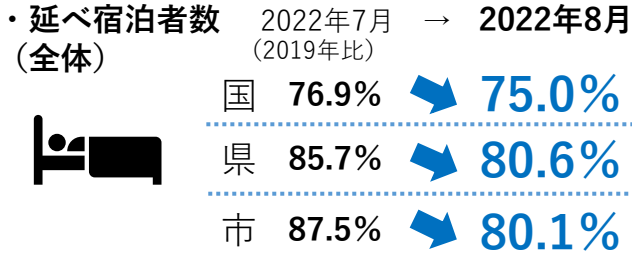


数字から見る神戸観光の動向 (マンスリーレポート2022年11月号より一部抜粋)

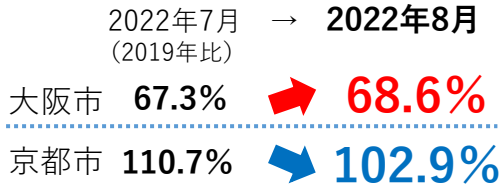


[観光庁など統計データより]



8月は全体同比は前月より低下したが、宿泊者数はコロナ以降最高値。第7波ピーク下でも旅行機運の減退は目立たず。県・市は大阪府が月を通じてブロック割の対象外であった点も踏まえる必要あり。

神戸観光局会員向けに観光マーケティング情報を配信しているマンスリーレポート2022年11月号から注目数字を一部ご紹介いたします。



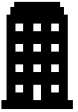
国内客は大阪98.6%、京都158.2%と高水準が続く。京都は微減だが、全体で3ヵ月連続2019年を上回っている。

出典：国/県：観光庁「宿泊旅行統計調査」
市：「観光予報プラットフォーム」



夏のレジャー需要の高い8月からの反動減は見られるが、2019年同月比では、7割5分程度の水準に。

出典：日本銀行神戸支店「管内金融経済概況」



[観光動向に影響を与える要素]

・11月期の国際線の就航状況 (10月20日時点)

	10月	11月		10月	11月
英国	0	0	香港・マカオ	16	31
フランス	3	3	韓国	82	140
豪州	2	2	タイ	8	12
中国	4	5	マレーシア	3	5
台湾	30	58	インドネシア	0	0

東アジア便の回復が進む中で、特に、韓国便は、2020年1月期比で、ソウル便58%、釜山便80%と大きな回復。

・Google検索の上昇率 (10月1日～31日)



	日本	台湾	韓国	香港
上昇率	75%以上	50～75%	25～50%	
順位	1位	3位	9位	
都市別	大阪市 2位	京都市 3位	神戸市 8位	香港 香港

先月と同様、今月も日本の旅行先として日本が最も急激に検索されている。都市別では、大阪市・京都市はほとんどの国で10位以内にランクインしている中、閑空発着便が増加したことにより、韓国や香港では、神戸市もランクインしている。

[神戸観光局オリジナル情報]

・Feel Kobe に訪問するユニークユーザー(UU)数



順位	2022年10月	2022年5月	2017年12月
1位	41万人	35万人	34万人

Feel Kobeに訪問するUU数は、みなとHANABIや観光スマパスの閲覧などが牽引して過去最高値に。

※2022年5月はGWイベント、2017年12月はメリケンパークでの世界一のクリスマスツリーイベントなどが牽引。

・観光案内所(3施設合計)の案内件数



10月案内総件数 前月比
国内外 152% 外国人 253%

入国緩和の影響により、特に、アジアからの外国人観光客の回復が顕著。

“神戸観光局マーケティング情報「マンスリーレポート」”とは
神戸観光局会員とマーケティングに関する情報プラットフォームを築く取り組みとして、タイムリーな観光動向を月次配信しています。〔配信予定日：毎月第4火曜日〕